

会 議 の 概 要

1 会 議 名	令和5年度第2回宝塚市社会教育委員の会議
2 開 催 日 時	令和5年9月15日（金）10時00分～12時00分
3 開 催 場 所	宝塚市立宝塚自然の家
4 出 席 委 員 [■出席 □欠席]	■木下委員 □田中委員 ■林委員 □石井委員 ■大西委員 ■温井委員 ■皐月委員 □西本委員 ■種村委員 ■寺澤委員 ■湯浅委員
5 傍 聴 者 数	0 人
6 公 開 の 可 否	☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可
7 議題及び結果の概要	◆議題 （1）宝塚市立宝塚自然の家指定管理者制度導入後の検証 ◆報告 （1）令和5年度阪神北地区社会教育委員協議会 第2回理事会について （2）近畿地区社会教育研究大会（滋賀大会）について

令和5年度第2回宝塚市社会教育委員の会議 議事要旨

1 議題

(1) 宝塚市立宝塚自然の家指定管理者制度導入後の検証

【現地視察】

管理棟・駐車場→アスレチック（説明のみ）→本館→あかしや広場→森のキッチン→多目的広場→松尾湿原→天文台→旧東家住宅→本館
（宝塚市立宝塚自然の家指定管理者同行）

【現地視察終了後本館にて意見交換】

（宝塚市立宝塚自然の家指定管理者同席）

（委員）

学校以外にも一般の方や企業にも情報発信をすることで、例えばこの施設運営に共感する企業から寄附があるかもしれない。この施設を活用する方向性で検討いただきたい。私たちも繋げていきたいと思う。

（委員）

子どもと一緒に、今回の説明を聞きながら施設を回れたら理解が深まると感じた。家族ときて自然に触れるのも良いが、昔の暮らしなどを小学3年生で学ぶと思うのでは是非来て学んでほしい。

（委員）

広いエリアにも関わらず丁寧に整備されていて、炊飯場やアスレチック、広場など有効活用できると考える。天文台ではボランティアの協力によって天体観測ができ、一般の家庭も含めて色々な経験ができる場となっていることが良い方向性だと感じた。そういった理解が広がっていけば更に良いと考える。

（委員）

環境体験授業の場として小学校3年生の学年に適している施設だと感じた。大規模校はバスの借り上げ料が必要となるが、学校での予算がないことが課題と認識している。

また、5年生では自然学校があり、丹波少年自然の家が閉館となったため、ここで宿泊ができればとても活用できると感じた。

一般家庭へもっとアピールすれば、土曜、日曜はたくさん人が集まると思う。

(委員)

昨年の4月から月に1回、指定管理者にエフエム宝塚のラジオに生出演いただき、施設のPRを行っている。

校外学習の参加学校数が減っているが、施設の利用人数は増加しており、学校教育以外と利用者が増えているということなのか。

以前にジャズイベントを開催したことがあるが、不便な場所だけれども人がたくさん集まった。今はイベント開催を制限しているのか。

(事務局)

制限はしていないが、現状はそこまでできていない。

(委員)

いきなり大勢のイベントは難しいと思うので、小さいイベントを少しずつすることで、定期的な来場者数を見込めると考える。

(委員)

行政だけで管理運営をできる時代ではないと思う。外部からお金を持ってくるというマネジメント能力が必要だと考える。具体的な案を作って皆さんの共感を得て、やっていくことが社会教育なのではと考える。

(仮議長)

1回来たら、楽しい場所と知ってもらえると思うが、その1回が交通の便のハードルがあると思う。野外活動は注目されているので、足を運んでもらえるようなイベントがあればと思う。そのイベントで楽しかったと思ってもらえたら、口コミで広がって、毎年行こうと思ってもらえるのではないか。天体観測が開催されているのは広報誌などを見て知っていたし、写真も見たことはあったが、実物を見るのとでは全然違った。

(委員)

芋堀りやいちご狩りなどで西谷に来られる方がいるので、宝塚自然の家にも来てもらえと思う。

(仮議長)

施設の来場者はリピーターが多いのか。

(指定管理者)

リピーターの割合が多い。1回足を運んでもらうイベントについては、駐車場の関係

もあり、200～300人規模が上限となり、コロナもあったためまだ進められていない状況。しかし、今年の5月に申込み不要の大規模イベントを開催した際には、300人以上の来場があり、初めての方も多かった。

(仮議長)

やはり1回来て楽しかったと思えば、近い場所になると思う。

(委員)

施設を知ってもらうイベントも重要だと思うが、施設の厳しい現状についても伝えていくべきだと考える。イベントで募金をお願いするなど、自然を学ぶ場としてのコンセプトを持ちつつ、現状を知っていただき、行政だけでなく、市民や企業など皆で守っていくことも必要だと感じる。

(仮議長)

5月開催のイベント内容を教えていただきたい。

(指定管理者)

かおりの森という「香り」をコンセプトに、多目的広場で3店舗ほどにカレーを販売していただいた。西谷のお米と食材を使った今回のオリジナルのカレーを作っていただき、音楽を聴きながら香りを楽しんでいただいた。また、移動図書館にも協力いただいた。

(委員)

今回の視察について、遠足のように楽しませていただいた。現実を考えると、見れば見るほど悩みは深く、その中でも学校の利用やイベントがあるため、敢えて今のままでも良いのではと感じた。ただし、ここから来場者の年齢層を広げる、市外からの利用者も呼び込むとなれば、手を加える必要があると思う。先ほど企業の方に来ていただく意見はすごくいいアイデアだと思う。また、子どもたちにアイデアを出してもらうのはどうか。例えば、高校生などに、今日のように施設を見学し、どうしたら良いと思うか意見を聞いてみるのも1つだと思う。

(委員)

イベント開催時の収支計画はあるのか。

(指定管理者)

参加費は無料で、カレーを買っていただく費用のみで、その費用はカレー屋の材料費

となる。

(委員)

指定管理者の今後の夢を教えてください。こちら側だけの意見で進めるのではなく、共に進めていきたい。

(指定管理者)

まずはもっとたくさんの人に来て欲しいと思う。私も小学生の頃に転地学習で来た思い出があり、来場者の中にも、子どもの頃に来たという保護者の方がおられて、同じように歴史を繋いでいきたい思いがあり、続けていくことに意味があると考えている。施設を通して、西谷の自然や文化も知っていただきたい。西谷の地元の人にも知っていただき交流の拠点になってほしい。イベント講師についても教えてくださる方がたくさんおられるのでコラボして、ここならではのイベントで子どもたちに楽しんでもらいたいと考えている。

子どもたちが自然を通じて楽しんでいることが、自分たちのモチベーションとなっている。一人でも多くの人に来て欲しい思いがある。

(委員)

現実的に宿泊することは難しいのか。そこを考えることが方向性を決めるためにも必要だと思う。立地が課題となるのであれば、宿泊ができたほうが良いが、様々な事情があると思う。

(事務局)

他市の状況を言えば、グランピングや区画が整備された場所に自分たちでテントを張るスタイルのキャンプ場など様々なタイプの宿泊施設があり、宝塚市でも可能性はあると考えている。共通してどこの施設にもあるのが、シャワー室、トイレ、炊事場であり、逆に言えばこの3つが揃えられれば可能性があるのではと考えている。衛生施設と水の整備が十分でないため整備はある程度必要となるが、どうすればできるのか考えることが大切だと思う。

(仮議長)

1学年が宿泊しようと思えば難しくても、家族単位であれば可能ではないか。雨天時にも助かる。今の子どもたちはトイレとシャワーがないと気にする子が多いのため、コインシャワーなどがあれば良いと思う。日常と違う体験をすることがキャンプだと考えるため、今は減ってきているワイルドな野外活動が体験でき、それが逆に注目されるのではないかと。また、山の整備の日は皆さんに声をかけたら集まると思う。

(指定管理者)

里山作戦として作業を毎月1回開催し、老若男女問わず参加いただいている。カレーを無料で提供していたが、今回からは参加料を徴収して開催し、薪を割っていただいたり、皆さんと一緒にこの事業をつくっている。少しずつ定着してきているが、広報はこれからだと感じている。

(仮議長)

農作業をするために西谷に土地を借りる人がいたり、注目されていると感じる。ダリアも有名になってきたので、共にイベントや案内ができれば良いと思う。

(事務局)

一緒につくったものが皆のものになっていく、そうすると長く続くというコンセプトは大事だと考える。宿泊が可能となったときに、魅力がないと言われないように、日帰りのイベント経験を蓄積している。

(指定管理者)

キャンプは7月と10月にモニターを募集している。お風呂がないことも理解いただいた上で参加料を支払い体験することができる。終わった後に、感想等のヒアリングを実施し、これからできることを検討している。特に里山の夜はとても素敵だけれど、なかなか体験することができないため、今後もっと来て欲しいと考えている。

(仮議長)

天体観測とコラボも良いと思う。

(指定管理者)

10月は実施する予定。

(委員)

天体望遠鏡を一般に貸出し、SNS等で周知するのはどうか。多目的広場で星空観察も楽しいと思う。

(事務局)

天文同好会にてYouTube配信を行っている事例がある。

(委員)

自然を生かした学びの体験という芯の部分は残していただきたい。

(仮議長)

アイディアと宣伝が大切だと思う。

それでは、多くの意見をいただいておりますが、時間となりましたので最後に報告内容について事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

次回は11月に開催予定。

2 報告事項

(1) 阪神北地区社会教育委員協議会第2回理事会について

日時 令和5年8月29日(火) 15時～

場所 伊丹市役所

内容 第1回研修会の開催及び内容について

⇒日時：令和5年10月18日(水) 15時～17時

場所：市立伊丹ミュージアム

第65回全国社会教育研究大会(宮崎大会)について

令和5年度近畿地区社会教育研究大会(滋賀大会)について

(2) 令和5年度近畿地区社会教育研究大会(滋賀大会)について

日時 令和5年9月8日(金)

場所 立命館大学びわこ・くさつキャンパス

内容 記念講演

演題「ここでともにぶじに生きる」

講師：滋賀県立大学地域共生センター講師

米原市・高島市社会教育委員 上田 洋平 氏

(仮議長)

それでは、以上をもちまして、本日の議事を終わらせていただきます。